

様式 1

研究報告書（平成 28 年度）

提出者 佐久間香子

提出年月日 2017 年 3 月 28 日

【本ユニットにおける研究テーマ】

モノを媒介とした人と自然の歴史的関係の研究

【研究のねらいと目的】（600 字程度）

本研究は、文献調査とフィールドワークに基づき、ボルネオで現在語られる神話や系譜のバリエーションを収集・整理・比較することで、ボルネオの外部世界と内陸部社会との多様な関わりと現在世界への影響を説明することを目指す。

【研究業績】 学会報告・論文など

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書

佐久間香子. 2017. 「ボルネオ内陸部の交易拠点としてのロングハウス：19 世紀末のサラワクにおける河川交易からの考察」『東南アジア研究』54(2), pp. 153-181（査読あり）

https://kyoto-seas.org/ja/2017/01/tounan-ajia-kenkyu_54-2/

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

Sakuma K. Book Review: Brunei: From the Age of Commerce to the 21st Century by Marie-Sybille de Vienne, Singapore: NUS Press, 2015, 384p., *South East Asian Studies*. In Press.

<https://englishkyoto-seas.org/>

Sakuma K. Fieldwork with Children in Borneo, *CSEAS News Letter*, CSEAS Kyoto University. pp. 13-14.

<https://newsletter.cseas.kyoto-u.ac.jp/nl74/index.html>

(3) 国内学会・シンポジウム等における発表（口頭発表）

佐久間香子、「獣肉交換がつなぐ森と都市：マレーシア・サラワク州における「森の民」の生業経済戦略」、講演会「熱帯雨林と社会」、信州大学松本キャンパス、2016 年 11 月 21 日。（査読なし）

佐久間香子、「水路・陸路・空路で編む社会空間：現代のボルネオ内陸部社会における生活戦略の考察」ゾミア研究会、京都大学東南アジア研究所、2016 年 7 月 16 日。（査読なし）

佐久間香子「林産物交易が編み上げたボルネオの後背地社会：形成過程からの考察」、白山人類学研究会、東洋大学白山キャンパス、2016 年 6 月 20 日。（査読なし）

金沢謙太郎・分藤大翼・小泉都・佐久間香子、「熱帯原生林の共生社会論 —ボルネオの原生林を守る民族間ネットワーク—」、第 26 回日本熱帯生態学会年次大会、筑波大学筑波キャンパス総合研究棟 A、2016 年 6 月 18 日。（査読なし）

佐久間香子、「モノを媒介とした人と自然の歴史的関係：ボルネオの‘ツバメの巣’に注目して」、第 50 回 日本文化人類学会研究大会、南山大学名古屋キャンパス、2016 年 5 月 28 日（査読あり）

(4) 主催した研究会等

『東南アジアとオセアニアをつなぐ： 熱帯海域世界の政治史と経済活動』, 2017年3月4日, 於京都大学 吉田南キャンパス 総合人間学部棟 1207 教室

<http://research.kyoto-u.ac.jp/gp/%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%83%BB%E5%A4%AA%E5%B9%B3%E6%B4%8B%E6%B5%B7%E5%9F%9F%E4%B8%96%E7%95%8C%E7%B8%A6%E6%A8%AA%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88/#activity1962>

【通信欄】